

家庭用燃料電池エネファーム かんたん操作ガイド

下記についてご説明します。
詳細は取扱説明書をご確認ください。

- 1 発電モードを選ぶ
- 2 お湯を使う
- 3 お湯をはる
- 4 今日の実績/エネルギーを見る
- 5 リモコンの説明

もしものとき～ 停電のとき

もしものとき～ 断水のとき

もしものとき～ ガス停止のとき

■ 標準モデル
バックアップ熱源機一体型用



ご使用前に、取扱説明書の「安全上のご注意」を必ずお読みのうえ、お使いください。

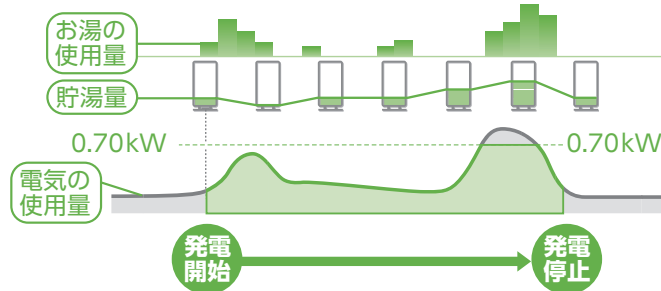
エネファームの運転方法について

エネファームは発電するときに、電気といっしょにお湯をつくります。つくった電気やお湯をご家庭で有効にご使用いただくことで、無理なく省エネになります。発電モードは、お客様の暮らしやお好みに合わせて、以下の7種類からご選択いただけます。

自動発電	🍃 おまかせ	とにかく使ってみたい!省エネしたい!
	💡 発電優先	発電時間を長くしたい!
	🚿 お湯優先	エネファームでつくったお湯をたっぷり使いたい!
🕒 予約発電		自分で発電時刻を決めたい!
🔋 貯湯量発電		貯湯タンクのお湯を使いきって、満タンになるまで発電したい!
⚡ 手動発電		今すぐ発電をしたい!
🔌 発電切(お出かけ停止)		発電を止めたい!

- 自動発電(おまかせ)以外の発電モードに設定すると、自動発電(おまかせ)に設定した場合と比較して省エネ性が低くなる場合があります。

自動発電(おまかせ)の運転イメージ



自動発電とは

お客様の1か月間の生活パターン(お湯と電気の使用時間と使用量)を学習し、過去の同曜日4日間の情報をもとに、当日の生活パターンを予測して、省エネになるようにエネファームの動きを決定する運転方法です。

- 1回の発電時間は、最長120時間(5日間)です(予約発電を除く)。実際の発電時間や発電量は、ご家庭の電気・お湯の使用状況などにより異なります。
- 1回の発電につき、2時間以上の機器内部リフレッシュを必要とします。このため、この時間は発電を停止します。

1

発電モードを選ぶ

台所
リモコン

1

発電設定 押す



2

お好みの<発電モード>を選び、
確定する



● 自動発電に設定する場合

3 で好みの<自動発電>を選び、 を押す

4 『『○○○○※1』に変更しますか。』の画面で、『はい』を選び、 を押す

※1 選択いただいたお好みの<自動発電>

● 予約発電に設定する場合

3 で発電の開始時刻を設定し、 を押す

4 で発電の終了時刻を設定し、 を押す

5 「予約発電に変更しますか。」の画面で、『はい』を選び、 を押す

● 貯湯量発電に設定する場合

3 「貯湯量発電に変更しますか。」の画面で、『はい』を選び、 を押す

● 手動発電に設定する場合

3 「手動で発電を入/切します。」の画面で、『入』を選び、 を押す

4 「手動発電を開始しますか。」の画面で、『はい』を選び、 を押す

● 発電切(お出かけ停止)に設定する場合

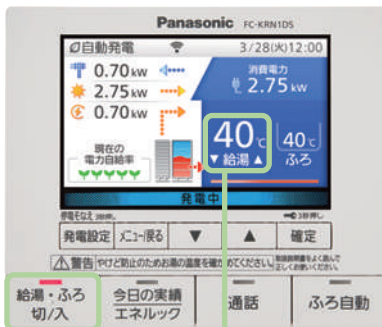
3 「発電切に変更しますか。」の画面で、『はい』を選び、 を押す

2

お湯を使う

台所
リモコン

浴室
リモコン



1

2

1

「入」(ランプ点灯)にする

2

温度を確認する

■ 温度を変えるとき

・ で好みの温度に変更してください。

・ 給湯温度は、32、35、37～48(1℃刻)、50、55、60℃に設定できます。

3

お湯を出す

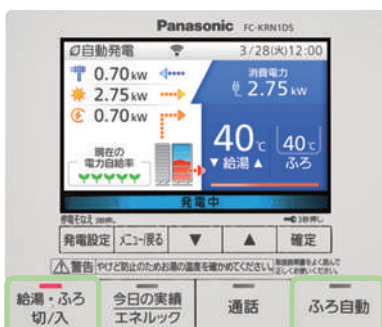
* が「切」(ランプ消灯)のときはお湯は使えません。

3

お湯をはる

台所
リモコン

浴室
リモコン



1

2

こんな使い方もできます!

時間帯を決めてふろ予約する
(発電アシストふろ予約)
設定した時間内でタンクのお湯が5
目盛り近くとお湯はりし、満タン
による発電停止を回避します。
詳しくは取扱説明書をご確認ください。

1

「入」(ランプ点灯)にする

2

「入」(ランプ点灯)にする

■ ふろ湯温や、ふろ湯量を変えるとき

「入」(ランプ点灯)にして、 → 「ふろ設定」を選び、 を押す

→ 「ふろ温度設定」または「ふろ湯量設定」を選び、 を押す

→ で、希望の温度、湯量を選び、 を押す

■ 希望時刻にお湯はりを完了させたいとき(台所リモコンのみ)

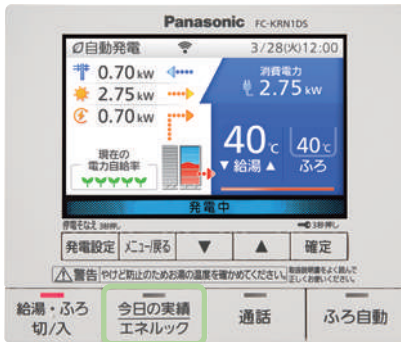
→ 「ふろ設定」を選び、 を押す

→ 「ふろ予約」を選び、 を押す

→ で、お湯はり完了時刻(ふろの沸き上がり時刻)を選び、 を押す

* 予約は1度のみ有効です(繰り返しません)。お湯はりを行うたびに、予約設定の操作をしてください。

今日の実績/エネルギーでは、その日やこれまでの発電量、CO₂削減量、電気やお湯の使用量などを見ることができます。



今日の実績

今日の実績：エネファーム		1/3
今日	昨日	
発電	333円 11.1 kWh	10.8 kWh
自給率	60%	56%
タンクのお湯	434L	422L
自給率	80%	80%

エコ

CO ₂ 削減量(W発電)：累積	
日	度
21	35
286672g	53378.5km
145030	

発電・W発電



使用量



「今日の実績」の見かた

- 今日の実績 エネルギー 押す(ランプ点灯)
- ▼ ▲ で、「今日の実績」を選び、確定 を押す
- ▼ を押すごとに、
「今日の実績：エネファーム」画面→
「今日の実績：太陽光発電^{*1}」画面→
「今日の実績：エコ貢献」画面が表示されます。

■ 1つ前の操作に戻るとき

→ キー戻る 押す

■ 終了・中止するとき

→ 今日の実績 エネルギー 押す(ランプ消灯)

※1 W発電表示設定「入」の場合のみ表示されます。

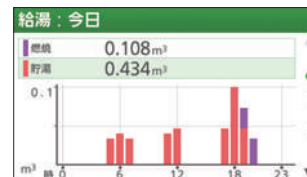
「エネルギー」の見かた

- 今日の実績 エネルギー 押す(ランプ点灯)
- ▼ ▲ で、「エネルギー」を選び、確定 を押す
例) 電気のつくった量を見る場合
- ▼ ▲ で、「発電^{*2}」を選び、確定 を押す
- ▼ ▲ で、「電気」を選び、確定 を押す
▼ を押すごとに、今日、昨日、今月、先月、過去1年のエネファームの発電量を見ることができます。



例) お湯のつくった量を見る場合

- ▼ ▲ で、「給湯」を選び、確定 を押す
▼ を押すごとに、今日、昨日、今月、先月、過去1年のエネファームがつくったお湯の量を見ることができます。



■ 1つ前の操作に戻るとき

→ キー戻る 押す

■ 終了・中止するとき

→ 今日の実績 エネルギー 押す(ランプ消灯)

※2 W発電表示設定「入」の場合は、「W発電」と表示されます。

詳しくは
ホームページへ

エネファーム パナソニック

検索

<https://panasonic.biz/appliance/FC/>



パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社
電材&くらしエネルギー事業部

〒571-8686 大阪府門真市門真1048

- 掲載されている情報は2023年4月現在のものであり、変更することがありますのでご了承ください。
- 商品写真について、ラベル等実物とは異なる場合があります。また印刷色のため色調等は多少異なる場合があります。
- リモコン画像はイメージです。ご使用中のご家庭ごとに数値等は異なります。
- 「エネファーム」は、東京ガス株式会社、大阪ガス株式会社、ENEOS株式会社の登録商標です。

FC-23007-U

2023.04

5 リモコンの説明

■各部 ●下記は台所リモコンですが、浴室リモコン・増設リモコンも基本的な操作方法是同じです。

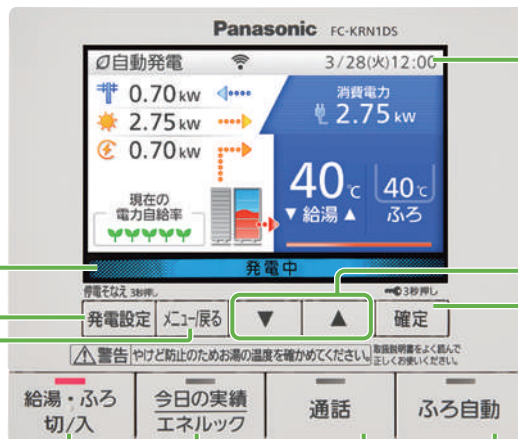
(台所リモコン)

発電ランプ(青)
「発電ランプ設定」が「入」で発電中に点灯・表示。(浴室リモコンなし)

発電設定スイッチ
発電モードを変更するとき。手で停電そなえ発電に切り替えるとき。(台所リモコンのみ)

メニュー/戻るスイッチ
メニューを表示するとき。前の画面に戻すとき。

給湯・ふろスイッチ・ランプ(赤)
リモコンの表示を入/切するとき。給湯・ふろ機能を使うとき。



画面表示部
(下記参照)

三角スイッチ
給湯温度や設定内容を変えるとき。

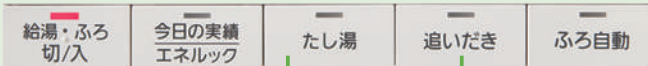
確定・ロックスイッチ
選んだ内容を確定するとき。誤操作を防ぐために、ロックするとき。

今日の実績/エネルギースイッチ・ランプ(赤)
今日の実績やエネルギー(発電や使用量に関する情報)を表示、設定するとき。

通話スイッチ・ランプ(赤)
台所リモコンと浴室リモコンで通話するとき。

ふろ自動スイッチ・ランプ(赤)
設定した湯量と温度で、お風呂にお湯をはるとき。

(浴室リモコン)



たし湯スイッチ・ランプ(赤)
たし湯をするとき。

追いだきスイッチ・ランプ(赤)
追いだきするとき。

画面

発電モード表示
設定中の発電モードを、アイコンで表示します。また、右記の表示を行うことがあります。

■保護動作中
機器を正常に動作させるために、右表の保護動作を行うことがあります。保護動作中は発電を停止しますが、給湯・ふろ・暖房の利用は可能です。

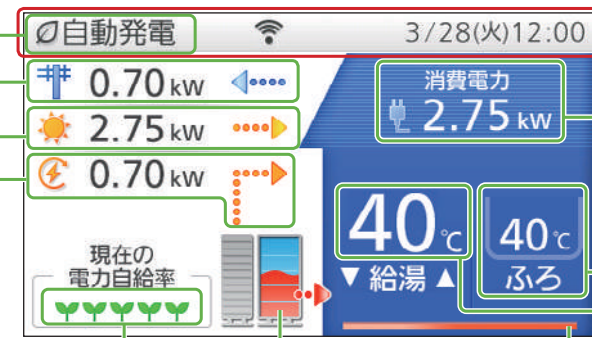
表示	原因
□保護動作中	4日程度お湯を使用していないとき
■保護動作中	電力使用量が多く、ブレーカー遮断のおそれがあるとき
■保護動作中	内部温度が運転可能温度を超えているとき
■保護動作中	発電後、機器内部のリフレッシュをしているとき
■保護動作中	マイコンメータの機能確認をしているとき
■保護動作中	エネファーム内部の水を浄化しているとき

売電電力/購入電力表示
売電電力 ※1
購入電力

太陽光発電表示 ※1
※1 W発電表示設定「入」時のみ

エネファーム発電表示
発電状態表示

待機中 —
起動中 ⚡ (アニメーション表示)
発電中 ⚡ (アニメーション表示)
停止中 ⚡ (アニメーション表示)



電力自給率表示
家庭の電力をエネファームと太陽光発電でどれだけ自給できているかを表示します。目盛り(♥)は20%単位で表示します。

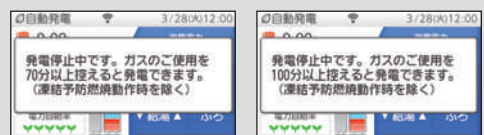
貯湯タンクの残湯量表示
発電中は貯湯タンク内でお湯が波打つアニメーション表示をします。お湯の温度が約45℃以上の残湯量を表示します。5日盛りになると音でお知らせします。

この領域にエラー表示(○ OFO、3桁数値など)が出た場合は、取扱説明書をご確認の上、お買い上げの販売店、メンテナンス店、またはガス事業者までご連絡ください。

家庭の消費電力表示
ふろ状態表示
給湯設定温度
床暖房状態表示

「■保護動作中」のときは

「■保護動作中」にガスのご使用が続くと、都市ガスは最長24時間、LPガスは最長36時間、発電を停止します。さらにガスのご使用が続くと、リモコンに右の画面が表示されますので、都市ガスは70分以上、LPガスは100分以上、ガスのご使用をお控えください。



もしものとき

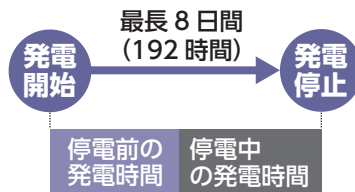
停電のとき

災害などで停電したときは、ガスと水道が止まる
最大500Wの電力と、給湯、お風呂、床暖房を

エネファームは、停電になっても発電を継続できるため、停電中も電気・給湯をご使用いただけます。(発電停止中に停電になった場合は、外部電源をつかって発電を再開させればご使用いただけます)

停電時専用コンセントから、
最大500Wの発電電力を使えます

最長8日間(192時間)連続発電できます



- 給湯やガス温水床暖房に使用する電力も含まれます。
 - 停電発生前に発電していた場合、その発電時間も含まれます。
- ※ パナソニック製インバーター式冷蔵庫について確認 (2021年4月 パナソニック調べ)

事前準備 停電前に設定を確認 台所リモコン

事前に設定・確認しておけば、停電時に操作する必要はありません。

- ① 停電発電モードが「停電発電入」になっていることを確認する 工場出荷時設定「入」
- ② 停電リスク予測連動設定が「入」になっていることを確認する 工場出荷時設定「入」
- ③ ネットワーク許諾設定が「同意する」になっていることを確認する 初期設定必要



ネットワークを経由して、お住まいの地域の暴風や台風などの停電リスク予測情報を受信したときに、

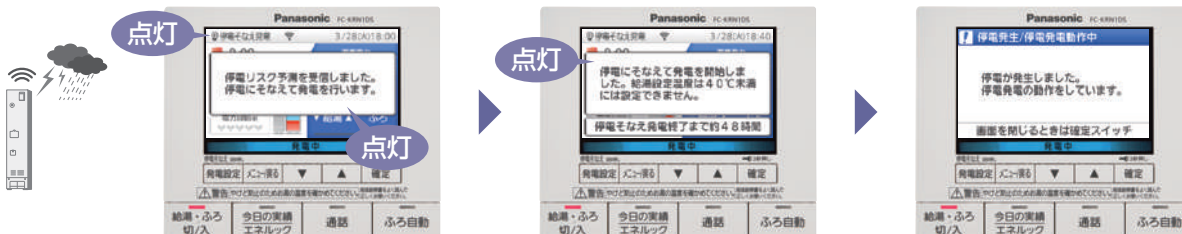
自動で「停電そなえ発電」に切り替わります

停電リスク予測情報を受信すると

自動で停電そなえ発電に切り替わります

停電そなえ発電を開始します

停電が発生したら、停電発電に切り替わります



発電停止中の場合は、発電開始まで起動時間 (都市ガス:約40分、LPガス:約90分) が必要です。

- 停電そなえ発電は48時間継続します。また、停電そなえ発電中は、700Wまで発電ができます。
- 貯湯タンクのお湯が満タンに近づくと、浴槽にお湯を自動で排水します。

ご注意

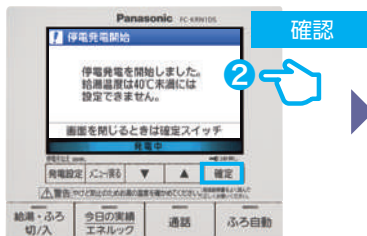
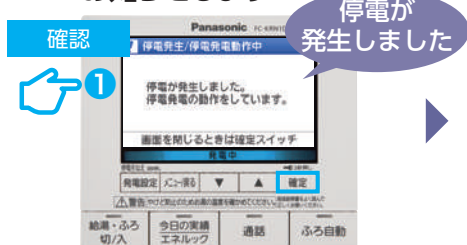
- 発電モードが「発電切(おでかけ停止)」に設定されている場合は、自動で停電そなえ発電に切り替えができません。発電モードを「自動発電」などに変更し、手動で「停電そなえ発電」に切り替えてください。
- 保護動作中は、停電そなえ発電に切り替わらない場合があります。保護動作が終了すると停電そなえ発電に切り替わります。
- 停電そなえ発電は停電時の発電を保証するものではありません。停電リスク予測情報を受信した際のエネファームの状態や、停電発生のタイミングなどによっては、停電発生までに発電を開始できない場合があります。

まっていなければ、エネファームで発電して、
を使うことができます。

ガスと水道が供給状態にある
必要があります。

停電になったら

音声と画面で停電発生を
お知らせします



「給湯・ふろ 切/入」スイッチを
「入」にする



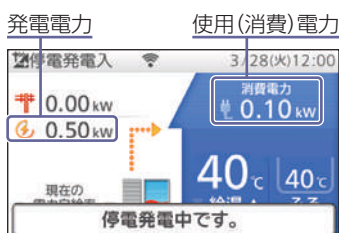
※既に「入」になっている場合、本操作は不要です

使用したい機器を



に接続し使用してください

(停電発電時のリモコン画面例)



- 500Wの電力を使用できるまで、停電発生時から最長約10分かかることがあります。
- リモコン上の「消費電力」の表示を確認しながら、「発電電力」を超えないようにお使いください。
- 停電発電を開始すると、給湯設定温度が40℃未満の場合、自動で40℃に切り替わります。停電発電中は、給湯温度を40℃未満には設定できません。
- 停電発電中は、貯湯タンクのお湯が満タンに近付くと、浴槽にお湯を自動で排水します。浴槽の栓を閉めたままにすると、浴槽からお湯があふれる可能性がありますのでご注意ください。

こんな使い方もできます!

①「停電そなえ発電」に手動で切り替える

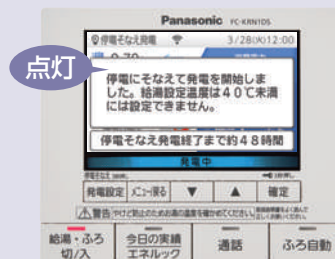
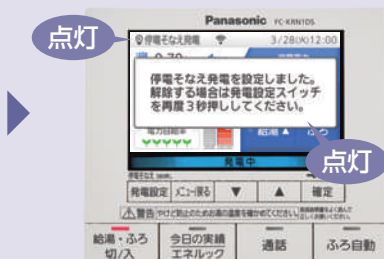
- ネットワークに接続していなくても使用できます。
- 手動で切り替えるときは、停電が予想される時刻よりも2時間ほど前までに設定してください。

急な天候変化で停電の恐れ
がある場合や、計画停電など
に備えたいとき

3秒以上押す

停電そなえ発電に切り替わります

停電そなえ発電を開始します



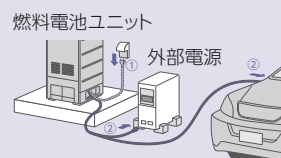
②外部電源を使い発電を再開する

発電停止中に停電したとき

エネファームが発電停止中の場合は、携帯型の蓄電池や発電機などと接続することで、エネファームを起動させ、発電を再開させることができます。

詳しい手順は取扱説明書をご確認ください。

- 蓄電池および外部電源の使用できる電源の目安
電圧: AC101V±6V
出力: 1kW以上
容量: 0.5kWh以上



事前準備 発電を停止させる

台所
リモコン

エネファームが発電中・停電発電中(起動中)・発電中(停止中)の場合のみ

発電状態表示が待機中(-)に
変わるまで待つ(都市ガス:最大約
90分、LPガス:最大約110分)

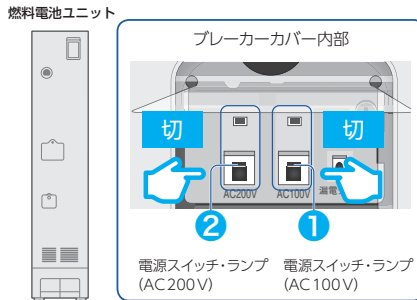


※停電発電中の場合は、停電発電モード設定を「停電発電切」にしてください。

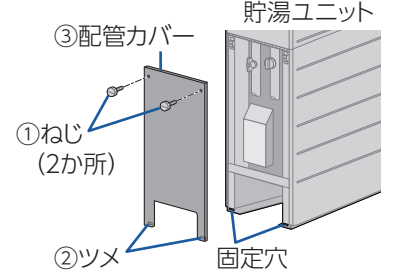
1 給水栓・給湯栓を閉じ、
給湯・ふろ「切」にする



2 システム電源を「切」にする
(AC100V→AC200Vの順)



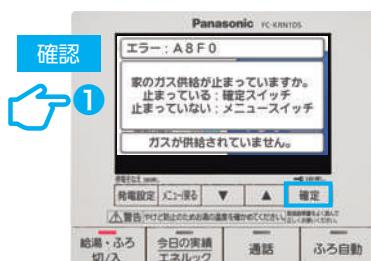
3 貯湯ユニットの
配管カバーを取り外す



* 配管カバーの形状は、設置形態により異なります。

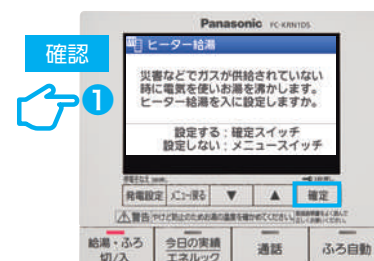
- 貯湯タンクから、約96 Lのお湯(水)を取り出すことができます。取り出したお湯(水)は生活用水として利用できます(飲用は避けてください)。
- お湯(水)は、貯湯タンクの高所水取出口(図のa)と、非常時水取出口(図のb)から取り出します。高所水取出口から取り出し可能な量は約58 Lです。出しきるのに約140分かかります。58 L以上取り出す場合は、非常時水取出口から取り出してください。
- 内径13~15 mmの水道ホースを用いると取り出しが容易です。また、お湯(水)は、熱に強い容器で受け取ってください。水道ホースや容器はお客さまにてご用意ください。

1 表示画面を確認し、
確定する



ガスの停止を確認
してください
(ガスのおいがないことなど、
周囲の安全を確認
してください)

2 表示画面を確認し、
確定する



■設定しないとき
[メニュー戻る] を押し、取扱
説明書に従って故障
表示「A8F0」の処置
を行ってください

を取り出して、生活用水として利用できます。

- 4** 栓・バルブなどを開閉する
- ① ガス栓：閉める
 - ② 給水元バルブ：閉める
 - ③ 排水バルブ：90度左に回して開け、すぐに元通り閉める

お湯(水)を受けるため、熱に強い大きめの容器を置く

④ 逃し弁カバーを取り外し、レバーを持ち上げて逃し弁を開ける

- 5** 水道ホースの先端を高所水取出口(a)に差し込む
- ・ お湯(水)が水道ホースの外に流れ出ないように、しっかりと差し込んでください。

- 6** 高所水取出口(a)を左に一回転して開ける
- ・ 一回転以上回さないでください。一回転以上回すと、高所水取出口の取り付け部からお湯(水)がでます。
- お湯(水)が出始めます。

警告 お湯に触れない (やけどの原因)

非常時水取出口(b)からお湯(水)を取り出すときは

手順5～手順6の操作を次のように変更してください。

- 5** 水道ホースの先端を非常時水取出口(b)に差し込む
- ・ お湯(水)が水道ホースの外に流れ出ないように、しっかりと差し込んでください。

- 6** 非常時水取出口(b)を左に回して開ける
- お湯(水)が出始めます。

警告 お湯に触れない (やけどの原因)

- ・ タンクの残水量が多いときに全開にすると、勢いよくお湯(水)が出ます。ゆっくり開け、様子を見ながら回転して調整してください。
- ・ 適当な太さの水道ホースがないときは、小さめの容器を用意して、出てくるお湯(水)を小さめの容器で受け、大きめの容器に移してください。
- ・ 出てくるお湯(水)は、最初から高温であることや、途中から高温(最高約80℃)になることがあります。

■お湯(水)を止めるとき

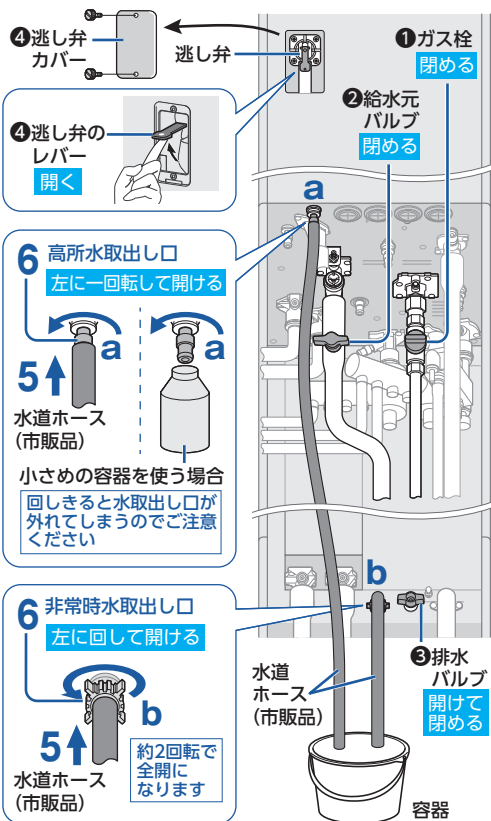
高所水取出口(または非常時水取出口)を右に回して閉じ、逃し弁を元に戻す

- ・ 取り出しが終了したら、逃し弁カバー・配管カバーを元どおり取り付けてください。

お湯(水)取り出し後にシステムの使用を再開するとき

使用を再開するときは、システム電源を「入」にした後、貯湯ユニットの水抜きと、機器の水はりを行ってください。貯湯タンクのお湯(水)を取り出すと、タンクにお湯(水)が残っていても、そのままシステムの使用を再開することはできません。詳しくは取扱説明書をご確認ください。

貯湯ユニット(配管カバーを取り外した状態)
(イラストはすべての栓、バルブが「閉」の状態を表示)



した場合、周囲の安全を確認した上で、機器に異常・故障がなければ、お湯に使用することができます。

ヒーター給湯を開始します

(故障表示「A8F0」が表示されますが、ご使用に問題はありません)



- ・ 「ヒーター給湯」はガス停止時のみ使用できます。停電や断水が発生している場合は使用できません。また、冬期など凍結のおそれがある場合は、凍結予防動作が優先され、その間「ヒーター給湯」は使用できません。
- ・ 「ヒーター給湯」の場合、お湯がなくなることがありますので、残湯量表示を確認しながらお使いください。
- ・ 「ヒーター給湯」を使用すると、貯湯タンクが5目盛りになるまでお湯をつくりません。お湯がたまるまでの時間は、以下を目安にしてください。季節や設置環境などによって異なります。

貯湯タンク容量100 L	水温5℃	水温15℃	水温30℃
貯湯タンクの残湯量が0目盛りから5目盛りになるまでの時間	18時間	15時間	9時間

- ・ お湯が5目盛りまでたまると「ヒーター給湯」は運転を停止しますが、お湯を使用して3目盛り以下まで減らすと運転を再開します。